第114期末(2026年８月20日)	
基準価額	4,420円
純資産総額	1,952百万円
第109期～第114期	
騰落率	△5.9%
分配金合計	159円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書（全体版）は下記ホームページの「ファンド情報」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「最新資料」欄において閲覧およびダウンロードすることができます。
運用報告書（全体版）は販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

カレラアセットマネジメント株式会社
〒107-6012　東京都港区赤坂一丁目12番32号
アーク森ビル12階
ホームページ:https://www.carrera-am.co.jp/
お問い合わせ先：管理部
電話番号：03-6691-2017
受付時間：営業日の午前９時から午後５時

オーストラリアリートファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／不動産投信

交付運用報告書

第109期(決算日:2026年３月23日)　第112期(決算日：2026年６月22日)
第110期(決算日:2026年４月20日)　第113期(決算日：2026年７月21日)
第111期(決算日:2026年５月20日)　第114期(決算日：2026年８月20日)

作成対象期間(2026年２月21日～2026年８月20日)

受益者のみなさまへ

平素よりご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

このたび、「オーストラリアリートファンド(毎月分配型)」が、2026年８月20日に第114期の決算を迎えました。

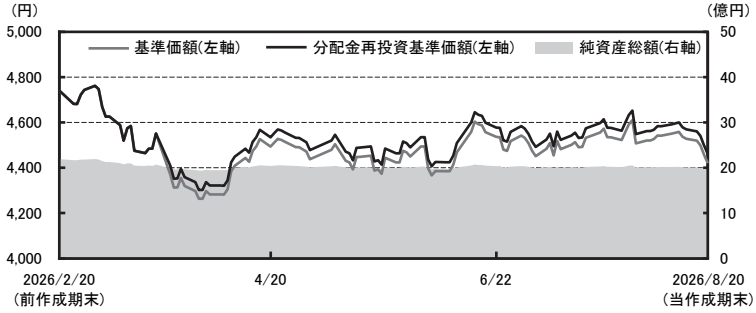
当ファンドは、外国投資信託受益証券への投資を通じて、実質的にオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券(リート)等(以下「オーストラリアリート」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、オーストラリアリートのオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行いました。期中の運用状況について、ここにご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

作成対象期間(2026年２月21日～2026年８月20日)



第109期首：	4,740円
第114期末：	4,420円(既払分配金159円)
騰 落 率：	△5.9%(分配金再投資ベース)

(注１) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注２) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
(注３) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

保有リートがマイナス要因となった一方で、保有通貨、株式オプション収入、通貨オプション収入がプラス寄与しました。

1万口当たりの費用明細

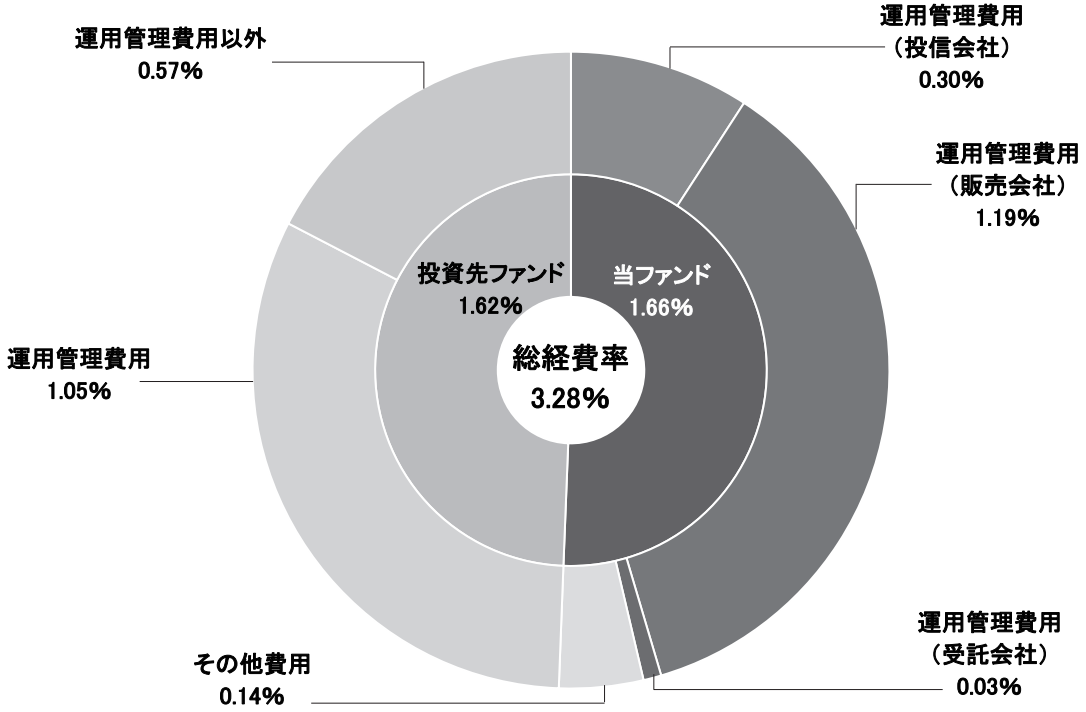
項目	当作成期(2026年2月21日～2026年8月20日) 金額	比率	項目の概要
平均基準価額	4,494円	－	作成期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	34円	0.752%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(7)	(0.147)	資金の運用指図等の対価
（販売会社）	(26)	(0.589)	購入後の情報提供等の対価、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用	3	0.067	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.006)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(2)	(0.049)	・法定目論見書、有価証券届出書、有価証券報告書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提供等または提出に係る費用
（その他1）	(0)	(0.011)	・証券投資信託管理事務の委託に係る手数料
合計	37円	0.819%	

（注１）作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注３）その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注４）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

・総経費率

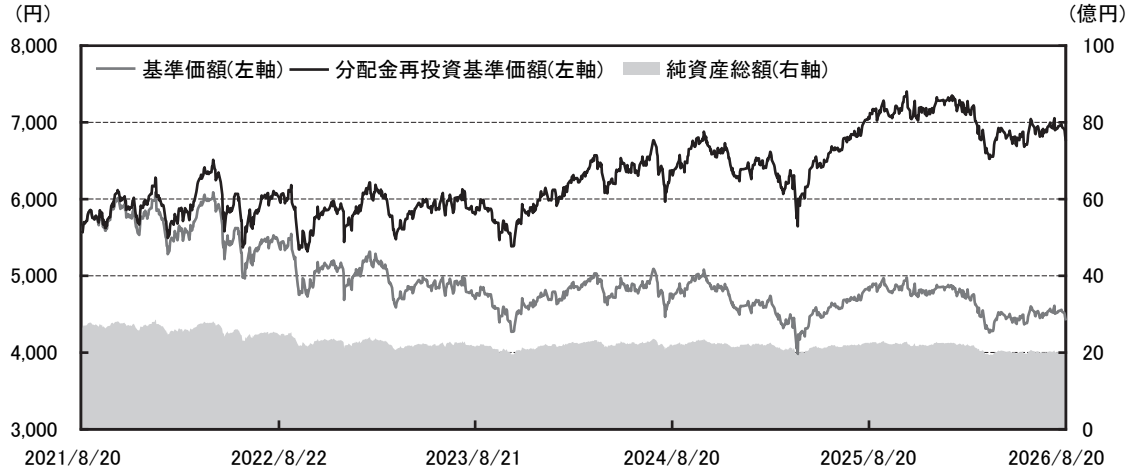
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は3.28%です。**



総経費率(①+②+③)	3.28%
①当ファンドの費用の比率	1.66%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.57%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



（注１）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を再投資したものとして計算しています。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2021年８月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

最近５年間の年間騰落率

決　算　日	2021年８月20日	2022年８月22日	2023年８月21日	2024年８月20日	2025年８月20日	2026年８月20日
基準価額（円）	5,568	5,404	4,699	4,754	4,812	4,420
期間分配金合計（税込み）	－	610	510	395	410	326
分配金再投資基準価額騰落率（%）	－	8.2	－3.7	9.9	10.5	－4.0
参考指数騰落率（%） ASX200 REIT指数（円換算指数）	－	7.9	－4.1	30.3	8.5	1.1
純資産総額（百万円）	2,641	2,467	2,151	2,200	2,238	1,952

（注）当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。運用報告書は、参考指数としてASX200 REIT指数（円換算指数）を表示しています。円換算指数は委託会社において計算したものです。円換算指数の計算方法は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の参考指数を営業日前日の為替レートで円換算しています。

参考指数について

ASX200REIT指数は、S＆P社が公表しているオーストラリアの上場不動産投資信託（REIT）を対象とした指数です。

投資環境について

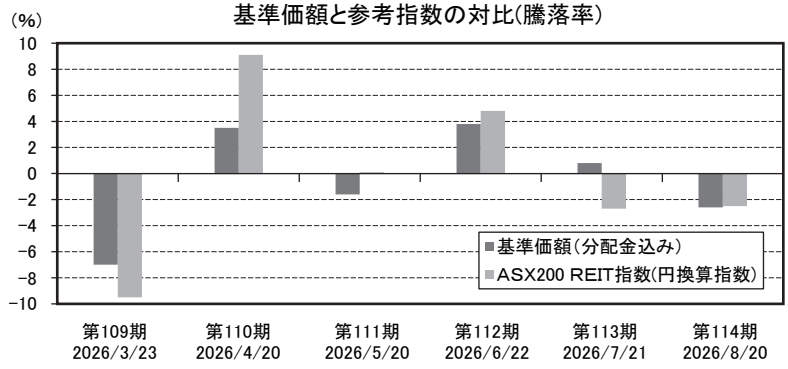
宇宙関連株やAI半導体株を中心に、世界の株式マーケットは堅調な展開となりましたが、イラン情勢を背景にしたインフレ懸念から金利が上昇傾向となり、その影響を受けて、オーストラリアのリート市場は軟調に推移しました。一方、為替市場では、オーストラリア・ドル／円(ロンドン・フィキシング)は第108期末比で3.1%のオーストラリア・ドル高／円安の112.77円となりました。

ポートフォリオについて

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指してポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

※ 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。交付運用報告書は参考指数としてASX200 REIT指数(円換算指数)を表示しております。



分配金について

第109期の一万口当たり分配金(税込み)は、40円と致しました。
第110期の一万口当たり分配金(税込み)は、30円と致しました。
第111期の一万口当たり分配金(税込み)は、30円と致しました。
第112期の一万口当たり分配金(税込み)は、25円と致しました。
第113期の一万口当たり分配金(税込み)は、18円と致しました。
第114期の一万口当たり分配金(税込み)は、16円と致しました。
留保金につきましては、今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳

(単位：円・%、１万口当たり、税引前)

決　算　期		第109期 (2026年２月21日～ 2026年３月23日)	第110期 (2026年３月24日～ 2026年４月20日)	第111期 (2026年４月21日～ 2026年５月20日)	第112期 (2026年５月21日～ 2026年６月22日)	第113期 (2026年６月23日～ 2026年７月21日)	第114期 (2026年７月22日～ 2026年８月20日)
当期分配金		40	30	30	25	18	16
(対基準価額比率)		0.907	0.663	0.678	0.548	0.394	0.361
	当期の収益	40	30	30	25	18	16
	当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額		7,298	7,350	7,396	7,445	7,480	7,507

(注１) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注２) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針について

■オーストラリアリートファンド(毎月分配型)

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により、主として外国投資信託受益証券への投資を通じて、実質的にオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券(リート)等(以下「オーストラリアリート」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、オーストラリアリートのオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行います。

■UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券

UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券は、オーストラリアリートに投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、オーストラリアリートのオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行います。

■カレラ　マネープール　マザーファンド受益証券

カレラ　マネープール　マザーファンド受益証券は、わが国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図るとともに、常時適正な流動性を保持するよう配慮して運用を行います。

お知らせ

安藤証券からのお知らせ

安藤証券は、私たちに共通で身近な文化であるスポーツの振興や発展を応援し、社会に貢献できることを願います。そのために、安藤証券は、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部を、プロテニスプレイヤーの強化、同コーチやトレーナーのサポート、さらには将来日本のテニス競技を担う子供たちの育成を目的として、直接にまたは関連する法人、団体、協会などを通して支援いたします。

※ 支援の金額、方法等については安藤証券が決定することとし、状況に応じて変更される場合もあります。
※ 支援の対象となる選手、コーチ等や関連する法人、団体、協会などは、当ファンドの販売または運用等には関与いたしません。

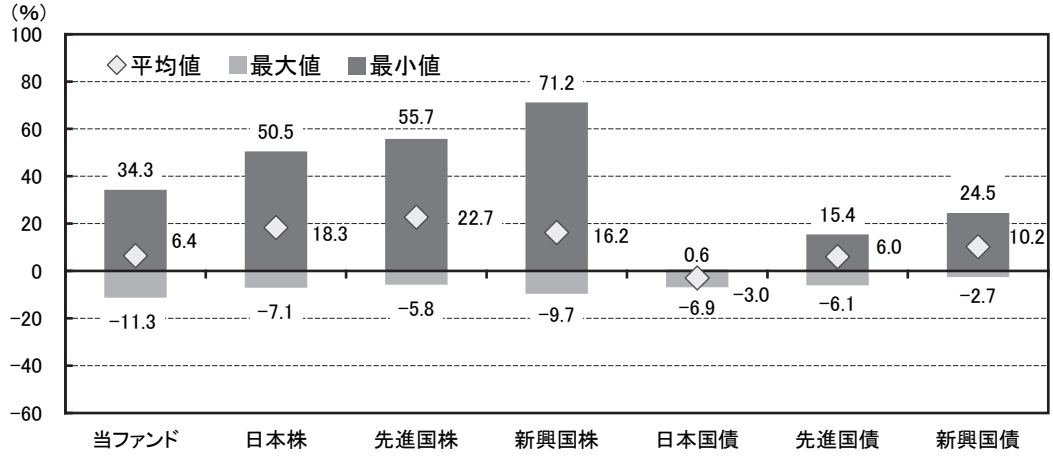
安藤証券は、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部について、公益財団法人日本テニス協会に対して強化育成プロジェクト（特別強化活動全般）を目的とした特定寄附を行うとともに、複数のテニスプレイヤーの強化と同コーチをサポートするために所属や契約をとおして、また、一般社団法人東京都テニス協会が主催する「ITF女子ワールドテニスツアー」の特別協賛をとおして支援を行いました。（安藤証券が行った支援の例です。）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2017年２月28日から2027年２月22日まで
基本方針	この投資信託は、ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定した配当収入の確保と中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。
投資対象	円建の外国投資信託であるUBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券および国内籍証券投資信託であるカレラ マネープール マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
投資態度	１．主として外国投資信託受益証券への投資を通じて、実質的にオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券（リート）等（以下「オーストラリアリート」といいます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、オーストラリアリートのオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行います。 ２．外国投資信託受益証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、外国投資信託受益証券の組入比率は原則として高位とすることを基本とします。 ３．実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ４．資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	１．投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ２．株式への直接投資は行いません。 ３．外貨建資産への直接投資は行いません。 ４．同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ５．デリバティブの直接利用は行いません。 ６．投資信託証券が一般社団法人資産運用業協会規則の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ７．一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人資産運用業協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。
分配方針	年12回（原則として毎月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②委託者が毎決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではなく、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

参考情報

〇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

＊ 2021年８月～2026年７月の５年間における１年騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

＊ 各資産クラスの指数

日本株 ……東証株価指数（TOPIX）
先進国株 ……MSCIコクサイ・インデックス（除く日本）（円ベース）
新興国株 ……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）
日本国債 ……NOMURA－ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
先進国債 ……FTSE世界国債インデックス（除く日本）（円ベース）
新興国債 ……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス―エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数の詳細は、14ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数についてをご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

（2026年８月20日現在）

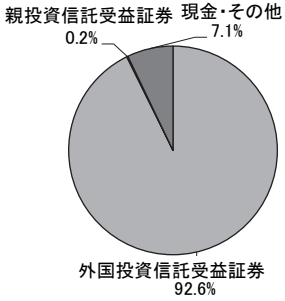
組入(上位)ファンド(銘柄)

ファンド名	第114期末 2026年８月20日 組入比率
UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド	92.6%
カレラ　マネープール　マザーファンド	0.2%
現金・その他	7.1%

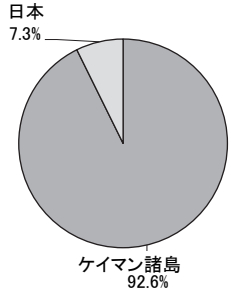
（注１）組入(上位)ファンド(銘柄)のデータは、2026年８月20日現在のものです。
（注２）組入(上位)ファンド(銘柄)の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注３）組入(上位)ファンド(銘柄)の組入比率は、小数点第２位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

種別配分等

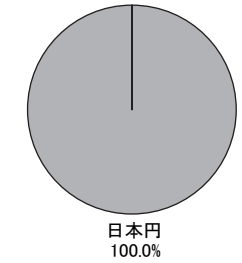
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別・国別・通貨別配分のデータは、2026年８月20日現在のものです。
（注２）資産別・国別・通貨別配分の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注３）資産別・国別・通貨別配分の組入比率は、小数点第２位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

純資産等

項　　目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2026年３月23日	2026年４月20日	2026年５月20日	2026年６月22日	2026年７月21日	2026年８月20日
純資産総額	1,984,821,376円	2,036,771,451円	1,978,711,863円	2,035,588,784円	2,028,377,727円	1,952,153,570円
受益権総口数	4,541,977,508口	4,533,231,566口	4,504,164,175口	4,487,874,198口	4,452,601,453口	4,416,620,783口
１万口当たり基準価額	4,370円	4,493円	4,393円	4,536円	4,555円	4,420円

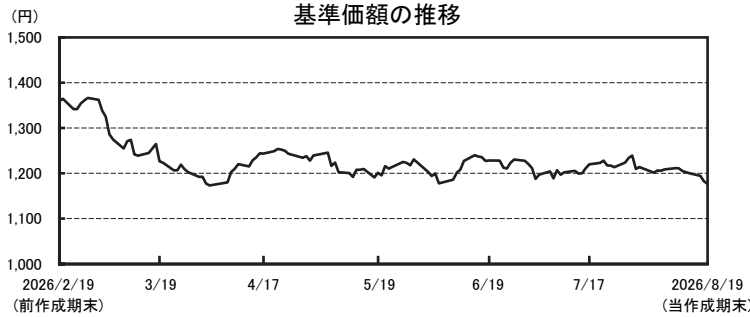
（注）当作成期間(第109～114期)における追加設定元本額は34,281,445円、同解約元本額は243,847,614円です。

組入上位ファンドの概要

当ファンドが、直接投資しているのは、UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券とカレラ マネープール マザーファンド受益証券ですが、その先の投資資産を表示しています。

◆UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券

基準価額の推移



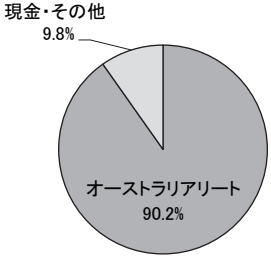
１万口(元本10,000円)当たりの費用明細
(2026年２月20日～2026年８月19日)

(注) 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式の為、当該情報の取得はできません。

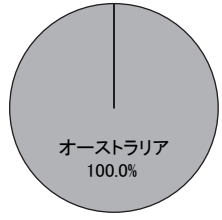
上位10銘柄

	銘　柄　名	国　名	比　率
1	ストックランド	オーストラリア	9.8%
2	グッドマン・グループ	オーストラリア	8.8%
3	ミルバック・グループ	オーストラリア	8.6%
4	チャーター・ホール・グループ	オーストラリア	8.6%
5	ビシニティ・センターズ	オーストラリア	8.5%
6	GPTグループ	オーストラリア	8.5%
7	センターグループ	オーストラリア	8.2%
8	デクサス・プロパティ・グループ	オーストラリア	7.4%
9	リージョングループ	オーストラリア	3.1%
10	チャーター・ホール・ロングウェイルREIT	オーストラリア	2.8%
組入銘柄数			18銘柄

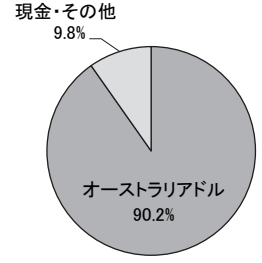
資産別配分



国別配分



通貨別配分



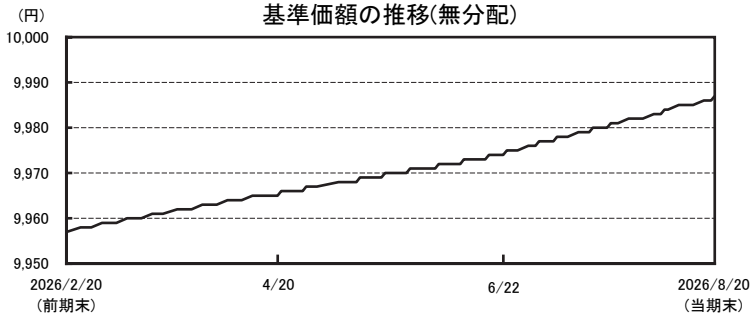
※ 本運用報告書は、当ファンド(オーストラリアリートファンド)の純資産額に基づいて計算しております。

(注１) 基準価額の推移、上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2026年８月19日現在(現地時間)のもので、当ファンドでは2026年８月20日の基準価額に反映されます。

(注２) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対するUBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンドの組入資産(現金等を除く)評価額の割合に基づいております。

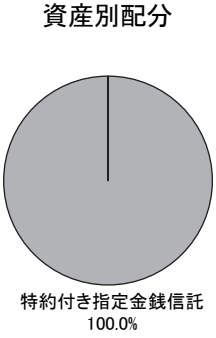
(注３) 資産別・国別・通貨別配分の組入比率は、小数点第２位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

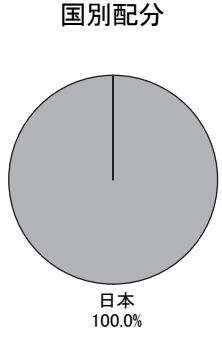
◆カレラ マネープール マザーファンド受益証券

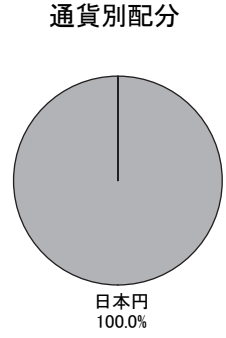


１万口(元本10,000円)当たりの費用明細

該当事項はありません。







（注１）基準価額の推移、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2026年８月20日現在のものです。
（注２）資産別・国別・通貨別配分の組入比率は、純資産総額に対する割合です。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数（TOPIX）
「東証株価指数（TOPIX）」は、株式会社JPX総研の知的財産で、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株式会社JPX総研が有しています。株式会社JPX総研は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ・インデックス（除く日本）（円ベース）
「MSCIコクサイ・インデックス（除く日本）（円ベース）」は、MSCI Inc. が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

■MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）
「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」とは、MSCI Inc. が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

■NOMURA－ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
「NOMURA－ボンド・パフォーマンス・インデックス国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表わす投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

■FTSE世界国債インデックス（除く日本）（円ベース）
「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。なお、FTSE世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス―エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」とは、新興国の現地通貨建債券市場の動向を測るためにJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが開発した、時価総額ベースの債券インデックスです。同指数に関する商標・著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。